

# 令和元年度第3回庄原市道德教育推進委員会研修会 兼 令和元年度庄原市人権教育研修会

- 日 時：令和2年2月5日（水） 14：00～16：35
- 場 所：庄原市総合体育館 第2会議室
- 対象者：庄原市内各小・中学校の道德教育推進教師26名

## 目 的

- ・「特別の教科 道德」における主体的、対話的で深い学びについて理解を深め、今後の道德教育の実践に生かす。
- ・道德教育推進教師としての役割を理解するとともに、校内における道德教育推進及び充実を図るための方策について研修する。
- ・人権意識を培うために、道德科の観点からの授業の在り方を研修し、人権教育に関する指導方法等の理解を深める。

講話・協議 「道德教育推進教師の機能化について」  
「人権教育の三側面を意識した道德科の授業について」  
庄原市教育委員会 教育指導課 指導主事 赤木 一成



### 【講話・協議の概要】

- 道德教育推進教師は、校長の指針をもとに、協力体制を確立し、組織をあげて道德教育の充実を図り、学校力、教師力を発揮することが大切である。年度末には、諸計画の見直しを全職員で行うことが必要である。その際、道德科が自校の道德教育の要になっているかという視点で見直す必要がある。
- 人権教育で育む三つ要素に「知識」「感性」「人権感覚」がある。道德科の授業を行う際にも、この三つの要素を意識して指導を行う必要がある。

講話・演習 「文部科学省道德教育アーカイブを活用した校内研修の実際」  
広島県教育委員会 義務教育指導課 指導主事 大橋 美代子



### 【講話・演習の概要】

- 文部科学省道德教育アーカイブ（映像資料）「卒業文集の最後の二行」を活用した模擬校内研修を実施した。
  - ・ 全職員の共通理解を図るために、映像資料の活用は非常に効果的である。しかし、視聴し、意見を出し合うだけでは、研修としての効果は少ない。道德教育推進教師として、資料分析をどう進めるかという点と教職員から出てきた意見をどのように価値付けるかが必要である。また、映像資料を視聴し、改善策を考えることも効果的である。



### 【参加者から】

- ・ 道德教育アーカイブを活用した校内研修の具体を知り、本校でも行いたいと思った。
- ・ 授業をどのように流すか、どのような指導方法を行うことができるかという視点で授業を考えていたが、主題解釈を主眼に置いた教材研究を行う必要があると思った。